



窯印



展示室外観



作品



窯



乾燥中



作業場内



花入



徳利とぐい呑み



中嶋 紀文
Toshifumi Nakashima
陣内 智子
Tomoko Jinnai

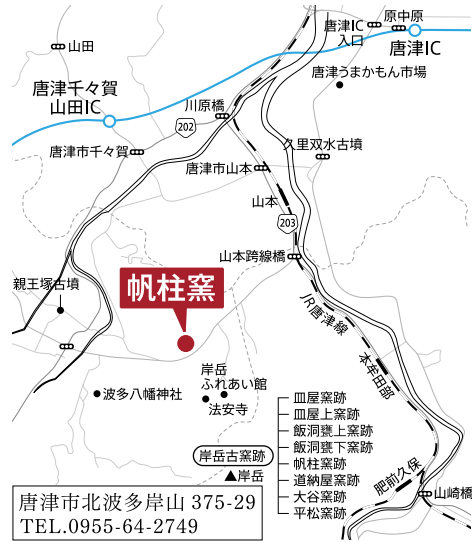
紀文氏
1939年生まれ。
椎の峯中里窯、窯業
試験場（井上萬二
氏）、太閤三ノ丸（江
口宗山氏）のもとで修
業した後、1976年に
開窯・独立。

- ☑ 駐車場
- ☑ 作業風景見学
- ☑ 体験教室
〈体験料金〉
1Kg 3,500円
- ☑ 要連絡

窯印・作家印▶

帆柱窯

ホ
バシラ
ガマ



土ではなく造形へのこだわり。
瓦焼きから唐津焼へ。土にはこだわらずに造形にこだわる」と語る中嶋さんは、多くの唐津焼作家とは少し違って、奇麗な唐津焼を目指し、土味の濃いものはなく、磁器のように奇麗な唐津焼の作陶に取組んでいる。伝統を継承しながらも、現代のニーズに合った、次の世代に残せるような唐津焼のあり方を日々模索しているのだ。そして、自分の好きな、自分なりの形を求めて、探求の手を止めない。服を選ぶように、自分の目で、自分の価値観で、唐津焼を選んでほしいという。
自分の考え・個性を持つことへのメッセージを、中嶋さんは器に託している。